

名主百姓をして、同社に領家職本役を收めしむ。

一一二五

【北野神社家條々引付】

加賀國福田庄領家職事、於北野社本役者致其沙汰、至下地者任去明應五年御判等沙汰之旨、畠山上野介宗守可領知之旨、被成奉書訖。早年貢諸公事物等、嚴密可致其沙汰之由被仰出也。仍執達如件。

永正六年八月十五日

英致
秀

當所名主百姓中

閏八月朔日。五井賴慶、山城相國寺周寅監寺に、幕府料所石川郡倉光莊下代官職の所務を預く。

一一二六

【溫故古文抄】

御料所加州倉光庄下代官職之事。

右相國寺周寅監寺仁、自當年己巳歲至癸酉限、五、所務所預置也。於代官得分者、國中諸本領以引懸可有勸定候。但於無沙汰者、雖爲何時可改易者也。仍令補任之狀如件。

永正六年己閏八月朔日 五井左近將監 賴慶 在判

周寅監寺

十月十九日。能登守護畠山義元、鳳至郡總持寺に制札を與ふ。

一一二七

【總持寺文書】 鳳至郡

禁制

惣持寺

一、濫妨狼藉事

一、伐竹木荒事

一、寺家不入事

右此條々、堅令停止訖。若有違亂輩者、可處罪科者也。仍下知如件。

永正六年十月十九日

修理大夫 在判

十月十九日。能登守護畠山義元、鳳至郡總持寺に、同寺領町野之内を安堵せしむ。

一一二八

【總持寺文書】 鳳至郡

總持寺領事

又最初に明應丁巳と書せり。故に松雲公採集遺編類纂には之を明應六年に係けたり。

永正七年 庚午 紀元二一七〇

正月十一日。佐脇秀隆、鳳至郡岩藏寺に田地を寄進す。

一一三〇

【石倉比古神社文書】 鳳至郡

奉寄進田地之事

合散田壹段者年行遠之内
上成六百八十文

右意趣者、爲岩藏寺觀音堂造營、永代奉寄進處實正也。然上者於子孫、不可及菟角違亂者也。仍寄進狀如件。

永正七年庚午正月十一日

佐脇与次郎

秀隆 在判

能州町野庄岩藏寺

三月十四日。能登守護畠山義元、山城賀茂別雷

一、町野之内

月泉和尚寄進分

一、龜山

相神右近家敷迄

一、貝食

百疋

一、枌木

貳百疋

如先規知行不可有相違者也。仍下知如件。

永正六年十月十九日

修理大夫 在判

總持寺

十月十九日。能登守護畠山義元、鳳至郡總持寺に、その公文檀那錢を先規の如くたらしむ。

【總持寺文書】 鳳至郡

一一二九

公文檀那錢之事、就有當住可爲先規候。住持懈怠之時者、不可及沙汰候。若背此旨及違亂候者、堅可申付候。恐々謹言。

十月十九日

義元 在判

惣持寺

侍者御中

(この文書は總持寺文書に永正六年と朱書を加へ、